



第**103**期
事業報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

全員経営で
世界の未来に挑む

東京貿易グループの経営軸

核心的価値観 (コアバリュー)

全員経営の精神 (創業の精神)

理念 (フィロソフィ)

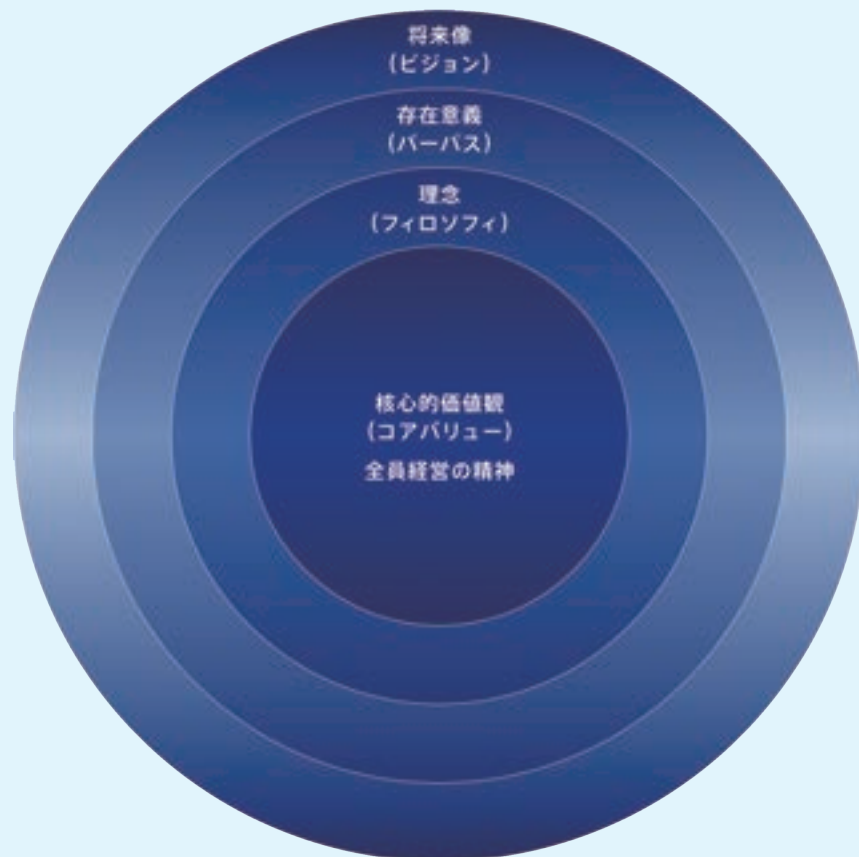
東京貿易グループは、自由闊達な文化の下、全グループ社員がそれぞれの立場で経営に参画し、常に持続的な社会の発展に貢献し、お客様の成功に寄与し、社会から必要な存在と認められ、お客様から感謝されるグループになる。そんなグループで働く社員が幸せと誇りを感じられるグループになる。

存在意義 (パーパス)

- 持続的な社会の発展に貢献すること (SDGs)
- 東京貿易グループ社員の物心両面での幸せを追求すること

将来像 (ビジョン)

- 社会の変化に応じたバランスの取れた事業ポートフォリオ (複数の成長事業) を保持しているグループ
- イノベーションにチャレンジし夢を語る、自由闊達な企業文化を有するグループ
- 社会の発展とお客様の成功に貢献することで、社会から必要な存在として認められ、グループ社員の皆が誇りに思えるグループ



株主の皆様へ

取締役相談役ご挨拶

2023年6月28日付で代表取締役会長を退任し、取締役相談役に就任いたしました。会長在任中にはステークホルダーの皆様へ温かいご指導、ご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

当社は新たな経営体制の下、将来に向けて全社員の芯になる考えを「経営軸」として策定しました。中心には、創業時から唱えられている「全員経営の精神」を核心的価値観 (コアバリュー) として据え、コアバリューに理念 (フィロソフィ) を積み重ね、そのまわりに、存在意義 (パーパス) や将来像 (ビジョン) が現れます。「社員が幸せを感じる」ことや「社会から認められること」を掲げつつ、競争力を備えた企業文化を育むことを目指します。グループ会社もこの経営軸を上位概念とし、それぞれの経営理念を掲げ、ともに挑戦し、成長をしてまいります。自由闊達な文化の下で皆様に安全・安心な生活、経済、社会活動を提供できるよう企業として責任を果たしていく所存です。今後ともご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長ご挨拶

2023年3月期も増収増益を達成し、皆様に報告できることを大変嬉しく思います。この結果は、グループ社員全員の努力とともに、多くの方々のご支援とご協力があったからこそ実現できたものです。心より感謝申し上げます。

世の中は急激に変化しており、コロナ禍や地政学的リスクを経験し、新たな生活様式、価値観が生まれています。私たちは経営軸の下、社員一丸となって、この変化に対応してまいります。また、社員が自由闊達な企業文化の下、主体性をもって働き、成長することで社会に大きく貢献してまいります。

この度、播州電装グループを新たに東京貿易グループの一員に迎えました。今後もM&Aなども活用し、より強い企業グループを構築していくことを目指します。引き続き、ご支援とご協力をいただけますようお願い申し上げます。



38%

エネルギー機械産業グループ

売上高 13,814 百万円 (前期比 +17.2%)

営業利益 2,146 百万円 (前期比 +78.2%)



－ 事業内容

電力・ガス・石油・石油化学など、エネルギー関連業界向けに流体荷役機械及び関連機器、ガス関連各種機械、発電関連機器・装置、環境関連機器などの開発・製造・販売を行っています。主力の流体荷役機械は、製販一貫体制のもと、優れた製品を世界中のユーザーに提供し、高い評価を得ています。

－ 事業概況

エネルギー業界では、世界的に脱炭素社会へ大きく移行していく中、水素エネルギーや再生可能エネルギーへの転換が求められています。また、化石燃料や資材の大幅な高騰を受けて、主力製品であるローディングアーム事業では、国内市場の縮小を補うべく海外市場への進出を強化・推進しております。そのような中、当連結会計年度は、ウクライナ情勢を受けて海外向けローディングアームの輸出が大きく後退した一方で、国内でローディングアームの補修工事やジョイント・バルブ取引の増加がこれを補い、当グループといたしましては、増収増益を果たしました。

19%

技術・自動車・情報産業グループ

売上高 6,761 百万円 (前期比 +12.8%)

営業利益 628 百万円 (前期比 +6.5%)



－ 事業内容

三次元測定機などから収集されたデータ及び製造の現場などで蓄積された知見・ノウハウなどを、関連ソフトウェア及びIoT製品などを活用し、生産性向上のためのソリューションとしてご提案・ご提供し、お客様のスマートマニュファクチャリング構築に貢献するエンジニアリングの専門集団です。

－ 事業概況

当グループが手掛ける三次元測定機の自動化ソリューションの提案を通じ、経済活動の回復に伴う自動車業界での投資増加を取り込み、増収を果たしました。さらに、新たな顧客層として開拓を進めていた建設業界に対しても取り組みを継続しています。また、当連結会計年度においてはポストコロナに伴うマーケティング活動や人材育成投資を積極的に行いましたが、最終的に当グループといたしましては、増収増益を確保しました。

40%

医療・生活・科学産業グループ

売上高 14,356 百万円 (前期比 +2.9%)

営業利益 1,914 百万円 (前期比 △16.0%)



－ 事業内容

セキュリティ機器、医療機器、理科学機器など、多岐にわたる製品の開発・製造・販売を行っています。とくに、セキュリティ事業では、海外の監視カメラを中心としたセキュリティ機器を厳格な品質管理のもと、現地調査からシステム設計、提案・見積り、施工、修理・メンテナンスまでのトータルサービスで国内市場に提供しています。また、医療機器分野においては、小型の臨床検査用自動分析装置が世界約80の国と地域で販売されるなど、優れた実績を誇ります。

－ 事業概況

主力のセキュリティ関連事業は、案件の大型化やTAS (TB-eye AI Solution) を組み入れた新規ソリューション案件の獲得などにより、売上高は堅調に推移しております。一方、国内仕入原価の上昇や円安に伴う輸入仕入原価の増加のほか、人件費や業務アウトソース費用の増加、また新商品の開発費用等を要し、最終的に当グループといたしましては、増収減益となりました。

3%

資材・資源・鉄鋼産業グループ

売上高 1,049 百万円 (前期比 +12.5%)

営業利益 453 百万円 (前期比 +23.4%)



－ 事業内容

資材関連では、中国の合併会社で開発・製造した耐火物を中心に鉄鋼業界へ安定供給し、アフターサービスまでのトータルサービスを提供しています。鉄鋼関連では、高級鋼をはじめとする各種鋼材を需要家のニーズに基づき東南アジア市場を中心に供給するとともに、事業の構築を推進しています。また、鉄鋼業界の脱炭素化、省エネ化、デジタル化などの課題を解決するデジタルソリューション事業を展開しています。資源関連では、鉄鋼原料、資機材を主体に海外より調達・供給しています。

－ 事業概況

世界的な鉄鋼需要の減少に伴う鉄鋼生産の調整は継続されており、また、主要顧客の高炉改修に伴う稼働停止などを受けて、鉄鋼メーカーにおける耐火材料の使用量は減少しましたが、原料価格上昇による販売価格の値上げなどにより、資材事業は堅調に業績を推移させることができました。一方、鉄鋼事業においては、インド向け自動車用鋼材の輸出取引が堅調であったものの、ベトナム向け建設用厚板の輸出取引においては、市況の悪化により苦戦を強いられました。その結果、鉄鋼事業の状況を資材事業が補う形で、当グループといたしましては増収増益となりました。

東京貿易グループのサステナビリティ —社会と会社の持続的成長—

東京貿易グループにとってサステナビリティとは「東京貿易グループの経営軸」を構成する「存在意義(パーパス)」に基づき、事業を通して「持続的な社会の発展に貢献すること」「東京貿易グループ社員の物心両面での幸せを追求すること」の最大化を図り、社会と東京貿易グループの持続的な成長を目指すことです。

東京貿易グループは2022年に創業75年をむかえましたが、創業以来、事業を通じて社会課題の解決を実現し、事業基盤を拡充、成長をしてまいりました。創業初期にはエネルギーや食糧の供給・確保という社会課題に取り組み、戦後の国民の生活を支え、その中で収益を上げ、会社の強みへと転換し、社会が直面する課題にソリューションを提供しつづけて、今日の持続的成長へとつなげています。

現在、東京貿易グループには国内外合わせて16社(2023年6月28日現在)が集いますが、各会社が持続的な社会の発展を意識し、2015年9月25日に国連総会で採択された、持続可能な開発のための17の国際目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」達成を目指してさまざまな取り組みを行っています。

今後も、「持続的な社会の発展に貢献すること」「東京貿易グループ社員の物心両面での幸せを追求すること」の最大化を経営軸の中に据え、豊かな未来の実現に向け、皆様の期待に応えてまいります。引き続き東京貿易グループへのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



東京貿易マテリアル株式会社

鉄スクラップAI判定システムの販売契約を締結

中国最大の法人用クラウドサービスプロバイダーである用友ネットワーク科技股份有限公司と鉄スクラップAI判定システムの日本向け独占販売店契約を締結いたしました。鉄鋼業は、日本が排出する年間約12億トンの二酸化炭素のうち、最も排出量が多い産業として知られています。世界共通の課題であるカーボンニュートラルに向けてさまざまな技術ニーズが生まれており、高炉から電炉への転換はその一つで、これにより今後鉄スクラップの使用量が大幅に拡大することが見込まれます。本システムを日本市場に提供することによりカーボンニュートラルな社会の実現に貢献いたします。



東京貿易ホールディングス株式会社

産業医及び産業保健師による社員サポート体制を強化

グループ全社員を対象とするオンラインでの健康面談が可能な産業医と保健師の導入をはじめとした健康管理体制の再構築を行っています。人的資本の活性化を図り、「健康経営」を推進することで社員の幸せと会社の持続的成長を追求し続けています。



TBグローバルテクノロジーズ株式会社

「SIGTTO - Regional Panel」にて、 液化水素用ローディングアームについて発表をしました

2022年11月にシンガポールで開催された「SIGTTO (Society of International Gas Tanker and Terminal Operators:国際ガスタンカー運航者及び基地操業者協会) - Regional Panel」にて、世界ではじめて開発した液化水素用ローディングアームについて発表を行いました。クリーンエネルギーとしての水素社会の実現に向け、貢献しています。



東京貿易テクノシステム株式会社

和歌山工業高等学校 産業デザイン科 ふるさとづくり大賞 団体賞受賞に貢献

和歌山工業高等学校では、東京貿易テクノシステム(以下TTS)の非接触3Dスキャナ「FLARE(フレア)」を活用し、仏像などの文化財保護を目的とした「お身代わり仏像」を作成し、総務省主催「令和4年度 ふるさとづくり大賞」で「団体賞」を受賞されました。TTSは顧客・市場の課題に果敢に挑戦し、解決、そして、持続可能な社会を目指して、貢献してまいります。



東京貿易メカニクス株式会社

水熱源温調装置 デマンド君 販売開始

「デマンド君」は工場や体育館、駐車場等での使用を想定した、冷暖房補助装置です。給水は井水、水道水、チラー水等、設置環境によって効率的な方法で行い、大風量ファンによって高温・高湿度の空気を除湿冷風で冷やします。また、クーリングタワー水を利用すれば温風出力も可能です。エアコン利用の削減が可能で排熱も無く、CO₂削減に大きく貢献する商品です。



国内グループ **TBグローバルテクノロジーズ株式会社**

世界初! 液化水素用 鋼管型ローディングアームの荷役実証を完了

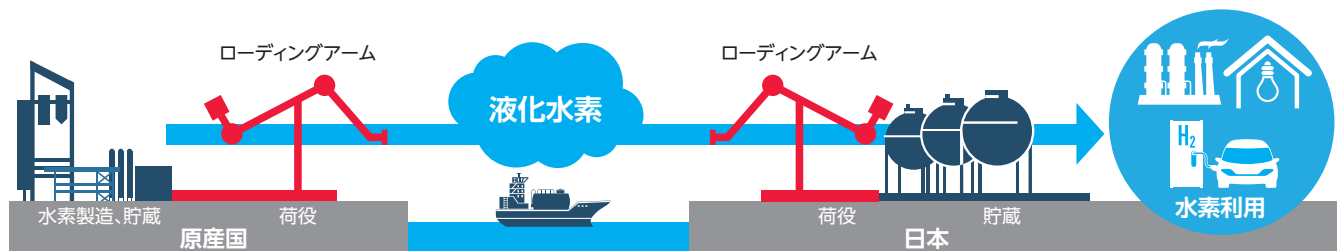
TBグローバルテクノロジーズ(株) (以下TBG) は、長年、油、LPG、LNGなどの流体荷役機械「ローディングアーム (以下LA)」の製造販売、アフターサービスを提供し、エネルギー社会への貢献を掲げ、国内・海外へ事業を展開しています。

現在、カーボンニュートラル・水素社会の実現に向けた世界初の技術に挑戦しています。水素は、多様な資源から製造できるため、エネルギー供給・調達リスクの低減に資するエネルギーです。また、再生可能エネルギーによる水の電気分解や、化石燃料と二酸化炭素の貯留・再利用技術を組み合わせることで、カーボンフリーなエネルギーとして活用可能です。カーボンニュートラルの実現に向けては大量の水素が必要で、ここで注目されているのが液化水素になります。

水素は、液化すると体積を800分の1にでき大量のガスも効率的に運ぶことができます。しかしながら、液化水素は-253℃というLNG-162℃に比べても非常に低く扱いにくい流体です。TBGは、この液化水素サプライチェーンで必要となる液化水素用LAを2014年度より川崎重工業株式会社様と共同開発を開始、そして2021年度には「液化水素用 ホース型LA (口径：6B)」、2023年2月には「液化水素用 鋼管型LA (口径：6B)」の荷役実証を完了し、世界初の実績を納めることに成功しました。TBGは、次世代につながるカーボンニュートラル社会の実現を目指し、その一役を担う荷役ソリューションの開発・事業化に挑み続けます。



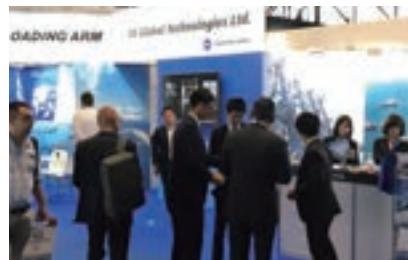
タンカーと接続中の鋼管型液化水素ローディングアーム



国内グループ **TBグローバルテクノロジーズ株式会社**

Gastech 2022に出展

2022年9月5日(月)～9月8日(木)、イタリア、ミラノで開催されたGastech (以下ガステック) 2022に出展いたしました。ガステックの開催は今回で第30回となり、天然ガス・LNGに関する国際会議・展示会としては世界最大級の規模を誇ります。世界60か国以上から4万人以上のエネルギー関係者が一堂に会する巨大イベントです。本展示会では主力製品であるローディングアームの国内外での販売実績や開発品についてのプロモーションビデオを放映し、世界にPRいたしました。今後も時代に適応した革新的な製品とソリューションを提供し続け、持続可能な社会へ貢献してまいります。



出展ブースの様子

国内グループ **東京貿易メカニクス株式会社**

付臭滴下監視システムの機能追加開発

東京貿易メカニクス(株) (以下TMX) の主力製品のひとつである付臭設備の付加価値向上に向け、「付臭滴下監視システム」の機能追加開発を行っております。都市ガス(液化天然ガス)は無臭であることから、都市ガス事業者が一般家庭に都市ガスを供給する際、危険予知のために付臭することが法律上義務付けられています。従来、都市ガス事業者は付臭滴下を目視にて行っておりますが、時に、ヒューマンエラーにより未付臭状態になることもあります。TMXではこうした未付臭状態をシステムティックに防止するとともに保守管理のデジタル化を進め、安全・安心で安定的なガス供給に引き続き貢献してまいります。



付臭滴下監視画面

国内グループ **東京貿易テクノシステム株式会社**

新商品「AQROS-Scan」をリリース

東京貿易テクノシステム(株) (以下TTS) は、2022年6月に高精度3Dハンディスキャナ「AQROS-Scan (アクロス-スキャン)」をリリースいたしました。AQROS-Scanは革新的な機能を搭載した高精度3Dハンディスキャナで、コンパクトで持ち運びがしやすく、バッテリーを使用したワイヤレス測定も可能です。TTSが取り扱う高精度3Dスキャナの中でも特に可搬性に優れ、場所を選ばず現場での簡単スキャンが可能です。専用の環境を準備することで高精度な測定では必須であった測定対象物へのターゲットマーカーの設置が不要になり、測定工数の大幅削減が可能で、ものづくりの現場に携わるすべてのお客様の生産性向上に貢献します。販売初年度で、自動車メーカー様を初め多くのお客様に採用されています。今後も、TTSの主力商品のひとつとして積極的な拡販活動を展開してまいります。

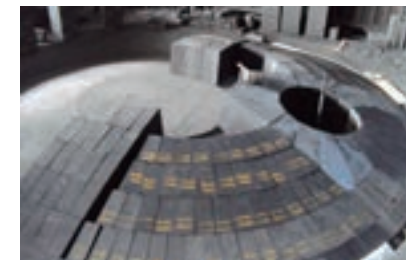


AQROS-Scan U(アクロス-スキャン ユー)

国内グループ **東京貿易マテリアル株式会社**

済南魯東耐火材料有限公司の合併契約を延長

東京貿易マテリアル(株)資材本部では、1995年より中国合併会社である済南魯東耐火材料有限公司 (以下済南魯東耐火) において製造したマグカーボンレンガを国内製鉄メーカーへ供給しております。このたび合併出資者3社で本合併事業の経営期間を延長いたしました。済南魯東耐火は、2020年から2022年にかけて、コロナ禍やさまざまな困難を切り抜け、耐火物原料を確保し、マグカーボンレンガの安定供給を実現したことで、2022年9月に主要取引先より感謝状を受賞いたしました。今後も日本向け取扱数量を拡大していくため、品質、価格面での製品競争力を向上させるとともに、経営にも積極的に参画してまいります。



マグカーボンレンガの出荷前仮組み検査

国内グループ 株式会社ティービーアイ

TASシリーズ最小製品「TAS CUBE」をリリース

TASシリーズの最小製品、手のひらサイズの「TAS CUBE」を2022年10月にリリースいたしました。「TAS(TB-eye AI Solution)」とは、(株)ティービーアイ(以下TBE)が開発したAIを活用した画像解析システムの総称で、セキュリティカメラの映像からナンバープレート(車番)や顔、人を検知し、AI解析を行うことにより、お客様が必要とする情報を提供します。セキュリティ強化だけでなく、顔・車番の認証や台数、人数のカウント、グラフ化機能を搭載しており、マーケティング活動により活用しやすくなりました。マーケティング情報の収集や人件費削減等、さまざまな課題解決にも活用いただいております。今後も、総合セキュリティシステムのオーガナイザーとして、お客様の課題解決に貢献してまいります。



TAS CUBE活用事例:登録車両を検知したらお知らせ

国内グループ 株式会社ティービーアイ

4インチ顔認証リーダー「UFT-2040F4」をリリース

2022年11月に、2名の顔認証によるセキュリティシステム「4インチ顔認証リーダーUFT-2040F4」をリリースいたしました。顔とICカードの複合認証や、登録者2名が連続して認証することでドアを解錠させる2名認証などの機能を実装しています。金庫室やサーバールームなど、高いセキュリティ性が要求される現場での入退室管理に最適です。また、TBEのセキュリティカメラブランド「VIZOLiA」と統合することで、セキュリティカメラのライブ・録画映像と入退室履歴を同一プラットフォームで確認・管理することができ、管理者の業務負担を大幅に軽減することができるようになりました。TBEは、より良質なセキュリティ機器とサービスの提供に努め、社会へ安全・安心を提供してまいります。



4インチ顔認証リーダー 使用場所イメージ

国内グループ 東京貿易メディス株式会社

JACLaS EXPO 2022 in 神戸に出展

2022年10月7日(金)~9日(日)の3日間、「JACLaS EXPO 2022 in 神戸」に出展いたしました。JACLaSは臨床検査分野の医療機器・検査システム・検査薬の各メーカーが参加する国内最大級の展示会であり、臨床検査にかかわる多くの医療従事者や代理店の方々が来場されます。今回は西日本エリアの多くのお客様に加え、前回コロナ禍でお越しいただけなかったお客様にもご来訪いただき、展示製品の説明をさせていただくことができました。主力製品であるビオリス30iに加え、メディスリンクの展示では、追加機能(精度管理におけるXbar-R管理図等)をご紹介し、今後も機能の拡充を検討しております。引き続き当社製品を通じ、世界中の人々の健やかさ、そしてその先に広がる幸せな未来づくりに貢献できるよう、努めてまいります。



出展ブースの様子

国内グループ 株式会社tb innovations

スタートアップへの投資で成長戦略の実現を目指す

(株)tb innovationsは、CVCファンドを通じて、2022年度にモビリティ領域、AI領域、3Dデータ解析領域の3つの分野において、3社のスタートアップに投資し、これにより累計9社への投資となりました。これらのスタートアップは、東京貿易グループの新規事業創出や既存事業発展に向けた事業シナジーを検討可能な企業や、将来的な成長が見込める企業です。これらのスタートアップとのオープンイノベーションを進め、技術やアイデアの共有を通じてグループのビジネスの拡大や付加価値の向上を図ります。同時に、この投資を通じ、東京貿易グループのネットワークやリソースを活用することで、スタートアップの成長を促進し、互いにWin-Winの関係を築いていくことを目指しています。これにより、成長戦略の実現や事業ポートフォリオ転換を進め、豊かな社会の実現に貢献してまいります。



共創の輪:オープンイノベーションの実現へ

国内グループ 東京貿易ホールディングス株式会社

カーボンリサイクルファンドに入会・寄付

東京貿易ホールディングス(株)は、2022年5月に一般社団法人カーボンリサイクルファンドに入会し、広報ファンドに寄付をしました。同ファンドは、地球温暖化問題について、地球全体でCO₂排出量を減らしていくことが重要であり、これまでの規制による対策のみでは解決が不可能、また一方で、世界の約10億人が、電気の恩恵に供しておらず、エネルギーのアクセス改善が大きな課題であると掲げ、CO₂を資源として捉え、カーボンリサイクルイノベーションを推進するという考えの下、2019年8月30日に設立されました。同ファンドへの入会と寄付を通して、カーボンリサイクルに対する啓発活動への広報活動を支援し、地球温暖化問題と世界のエネルギーアクセス改善の同時解決に貢献します。

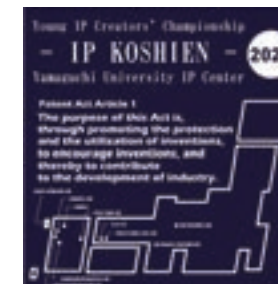


カーボンリサイクルファンド ロゴ

国内グループ 東京貿易ホールディングス株式会社

第3回全国知財創造実践甲子園2022に協賛

東京貿易ホールディングス(株)(以下TBH)は、2023年1月28日(土)に開催された国立大学法人 山口大学 大学研究推進機構 知的財産センター主催「第3回全国知財創造実践甲子園2022」に協賛しました。同大会は2020年の第一回から知的創造サイクルの観点重視し、これら課題の解決に資することを目的とし、参加する学生は、各々の実践を知的財産の視点で見つめ直し、発表や共有で学び合うことで新たな創発の機会につなげています。グループ会社であるTBグローバルテクノロジーズ(株)は、物流改善や運搬作業を安全・安心に支援する協働ロボット「CoRoCo」を企業課題部門の教材として提供しました。実際の発表では、高校生ならではの柔軟で瑞々しく、ユーモアを交えた視点が見られ、中でも、現製品への具体的な改良案と新しい利用カテゴリーを3班で数多く提案された宇部工業高等学校が、『東京貿易グループ賞』を受賞されました。TBHは、今後も若い世代への教育活動をサポートしてまいります。



第3回全国知財創造実践甲子園案内

東京貿易ホールディングス株式会社 播州電装株式会社の株式取得完了

東京貿易ホールディングス株式会社は2023年4月28日付で播州電装株式会社の発行済み全株式取得を完了し、インドネシア製造拠点であるPT. BANSHU ELECTRIC INDONESIAとあわせて東京貿易グループに迎え入れました。
なお、同日付で、社名を「TB播州電装株式会社」に変更しました。



TB播州電装株式会社は、日本国内2工場、インドネシア2工場体制で、二輪車(バイク)や建設機械などで使用されるワイヤーハーネスの製造販売に従事し、高品質のワイヤーハーネス製造に強みを持ち、国内外の有力なお客様との取引基盤を有しております。主力顧客である日本国内の建設機械、インドネシアの二輪車(バイク)需要は安定的な成長が見込まれており、また、著しい市場拡大が見込まれるインド進出に向けて合併会社を設立しております。

今回の決定によりモビリティ社会の発展に必要なワイヤーハーネス事業において相互の強みを発揮することで、東京貿易グループのさらなる発展が期待できます。

*ワイヤーハーネス:複数の電線を束にしたもので(人間で例えると血管のような役割。非常に複雑で繊細。)電源供給や信号通信に用いられ、自動車やバイク、建設機械に使用される部品。



TB播州電装株式会社概要

会社名: TB播州電装株式会社
代表者: 代表取締役社長 米田 昭彦
所在地: 兵庫県加古川市平岡町西谷25-1
設立: 1965年7月
事業内容: 各種ワイヤーハーネス製造・販売



TB播州電装本社



TB播州電装 明石工場

PT. BANSHU ELECTRIC INDONESIA概要

会社名: PT. BANSHU ELECTRIC INDONESIA
代表者: 代表取締役社長 米田 昭彦
所在地: M - GOLD TOWER FL-18, JL. KH. NOER ALI
: BEKASI SELATAN 17148, JAWA BARAT INDONESIA
設立: 1996年9月
事業内容: 各種ワイヤーハーネス製造・販売



インドネシア工場



ワイヤーハーネス製造

国内グループ会社

株式会社ティービーアイ

代表取締役社長: 石村 昇吉
事業内容: セキュリティ機器の輸入並びに開発、製造、販売、設計、施工、アフターサービス
AI、画像解析技術を活用した各種ソリューションの開発、販売
インカムをはじめとした各種通信機器の開発、製造、販売
EC事業

TBグローバルテクノロジーズ株式会社

代表取締役社長: Laurent Poidevin
事業内容: 流体荷役装置等エネルギー関連装置及び機械等の開発、設計、製造、販売、アフターサービス
ロボット事業、エネルギー関連の新規事業開発
理科学機器、産業機器等の輸出入

東京貿易テクノシステム株式会社

代表取締役社長: 水原 弘人
事業内容: 三次元測定装置(CNC自動測定機、非接触計測機、計測ロボット等含)、モデル加工専用機、関連ソフトウェア(デザイン、検査、解析、データ処理)等の設計・開発・製造・販売、輸出入、サービス

東京貿易マテリアル株式会社

代表取締役社長: 重住 寛
事業内容: 資材事業(耐火物の開発・調達・販売及びアフターサービス)
鉄鋼事業(薄板・厚板鋼板、ステンレス、線材等の調達、販売)
資源・原料事業(鉄鋼原料、資機材の調達、販売)
デジタルソリューション事業(鉄鋼メーカーを主とした課題解決)

東京貿易メカニクス株式会社

代表取締役社長: 三須 丈義
事業内容: ガス関連機器の設計・開発・製造・販売・メンテナンス等アフターサービス

株式会社tb innovations

代表取締役社長: 高 賢啓
事業内容: 戦略投資(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)、コンサルティング、新事業開発

東京貿易メディシス株式会社

代表取締役社長: 森山 重
事業内容: 生化学自動分析装置の開発・製造及び販売
臨床検査システムの開発、販売

TB播州電装株式会社

代表取締役社長: 米田 昭彦
事業内容: 各種ワイヤーハーネス製造・販売

海外グループ会社

アメリカ合衆国 TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC. (ケンタッキー)

PRESIDENT: 井ノ山 靖紀
事業内容: 三次元測定機及び関連ソフトウェアの販売とサービス

中国 東京貿易(中国)有限公司 (上海)

董事長: 杉原 正章
事業内容: 中国における資材・資源・鉄鋼事業及び新規事業開発

東京貿易技研(広州)有限公司 (広州)

董事長: 倉持 幸正
事業内容: 三次元測定機及び関連ソフトウェアの販売とサービス

タイ TBTS(THAILAND)CO.,LTD. (バンコク)

PRESIDENT: 中里 太郎
事業内容: 三次元測定機及び関連ソフトウェアの販売とサービス

CIS TOKYO BOEKI EURASIA LLC (モスクワ)

GENERAL DIRECTOR: 瀧川 敬司
事業内容: CIS諸国向けの産業機器、並びに理科学機器の販売事業

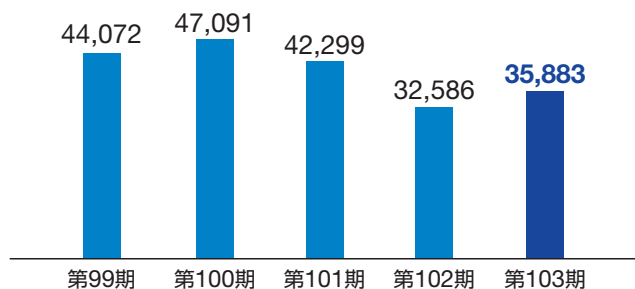
インドネシア PT. BANSHU ELECTRIC INDONESIA

代表取締役社長: 米田 昭彦
事業内容: 各種ワイヤーハーネス製造・販売

(2023年6月28日現在)

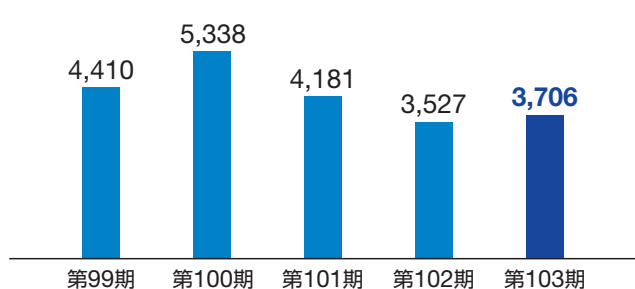
決算ハイライト

■売上高 (単位:百万円)

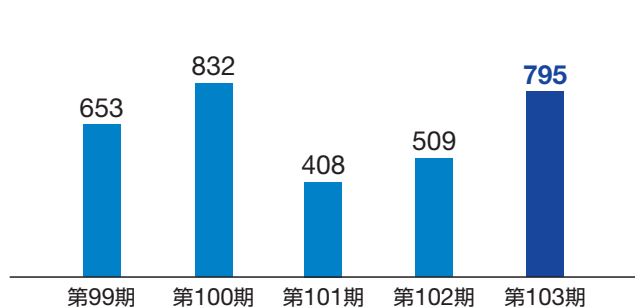


注)第102期より収益認識会計基準等を適用しており、会計基準変更前の売上高に相当する取扱高は第102期で45,317百万円、第103期で46,095百万円であります。

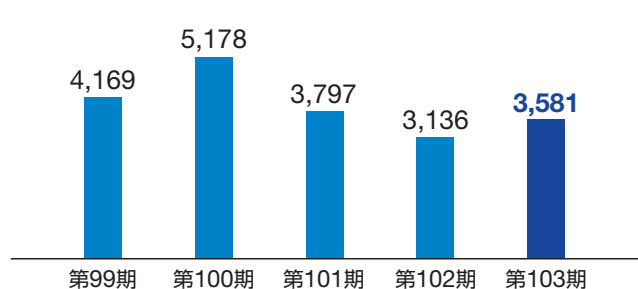
■経常利益 (単位:百万円)



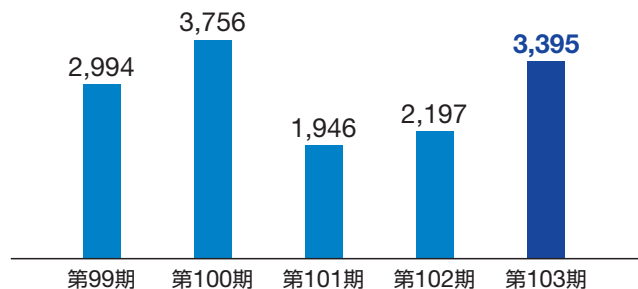
■1株当たり当期純利益 (単位:円)



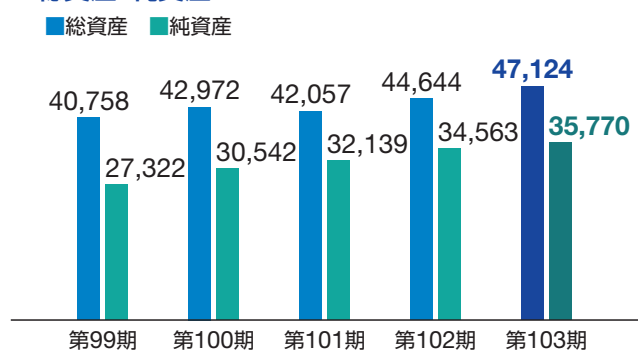
■営業利益 (単位:百万円)



■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



■総資産/純資産 (単位:百万円)



連結財務諸表

■連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当期 2023年3月31日現在	前期 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	37,393	34,967
固定資産	9,730	9,677
有形固定資産	3,101	3,298
無形固定資産	457	569
投資その他の資産	6,171	5,809
資産合計	47,124	44,644
負債の部		
流動負債	10,542	9,435
固定負債	811	645
負債合計	11,354	10,081
純資産の部		
株主資本	34,301	32,947
資本金	5,000	5,000
利益剰余金	29,865	28,512
自己株式	△564	△564
その他の包括利益累計額	1,259	1,427
非支配株主持分	209	188
純資産合計	35,770	34,563
負債・純資産合計	47,124	44,644

■連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	当期 2022年4月1日～ 2023年3月31日	前期 2021年4月1日～ 2022年3月31日
売上高	35,883	32,586
売上原価	19,987	17,749
売上総利益	15,895	14,837
販売費及び一般管理費	12,314	11,700
営業利益	3,581	3,136
営業外収益	364	511
営業外費用	239	120
経常利益	3,706	3,527
特別利益	1,571	—
特別損失	286	284
税金等調整前当期純利益	4,990	3,243
法人税等	1,593	1,044
当期純利益	3,396	2,198
非支配株主に帰属する当期純利益	1	0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,395	2,197

(注)金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。



会社概要/株式の状況

会社概要 (2023年3月31日現在)

東京貿易グループ 東京貿易ホールディングス株式会社
及びグループ14社 (合計15社)

設立 1947年 (昭和22年) 10月30日

資本金 50億円 (株主資本343億円)

従業員 966名

本社 (純粋持株会社) 東京貿易ホールディングス株式会社
〒104-0031
東京都中央区京橋2丁目2番1号
京橋エドグラン

東京貿易ホールディングス株式会社 役員紹介 (2023年6月28日現在)

取締役

代表取締役社長 坪内 秀介
取締役副社長 重住 寛
取締役 中川 伸吾
取締役相談役 加藤 三四郎 (富弘)
社外取締役 佐藤 誠治

監査役

常勤監査役 菊地 秀之
社外監査役 沼田 美穂
社外監査役 櫻井 賢治

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 38,519,920株

発行済株式総数 普通株式 4,281,140株
(自己株式を除く)

株主数 124名

主要な法人株主	持株数	持株比率
東貿持株会	743千株	17.36%
東京海上日動火災保険株式会社	423千株	9.88%
トーア再保険株式会社	408千株	9.53%
株式会社三菱UFJ銀行	211千株	4.93%
日本生命保険相互会社	120千株	2.80%
株式会社りそな銀行	102千株	2.38%

当社グループ ホームページのご案内

ホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介など
さまざまなコンテンツを掲載しております。

<https://www.tokyo-boeki.co.jp/>



東京貿易グループ

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン
TEL: 03-6841-8300 FAX: 03-6841-8388

